

# 算数(第3回)

問題		得点率 (%)	問題		得点率 (%)	問題		得点率 (%)
1	(1)	97.7	3	(1)	78.4	4	(3)	25.1
	(2)	89.1		(2)	25.2	5	(1)	27.5
2	(1)	34.6		(3)	67.9		(2)	37.7
	(2)	49.1		(4)	81.2		(3)	22.6
	(3)	50.8	4	(1)	73.5	6	(1)	22.1
	(4)	32.6		(2)	39.2		(2)	7.5

合格者最高点 86  
合格者最低点 33

**1** 基本的な計算問題です。確実に得点できるように、練習しておきましょう。

**2** 一行題（特殊算）です。標準的な問題ですので、ぜひ正解を積み重ねてほしい4題です。

- (1) 立体図形の問題です。与えられた3つの長さを4で割った値を1辺としている誤答が多かったです。
- (2) 過不足算の問題です。定価で売れた個数は400個であったことに気を付けて解いていきます。
- (3) 平面図形の比の問題です。8倍という誤答が多かったのが残念でした。
- (4) 周期性の問題です。うるう年に気を付けることがポイントです。

**3** 一行題（特殊算）です。応用的な問題ですので、1題でも多く正解を積み重ねてほしい4題です。途中を見る問題が1題あります。しっかりと途中の考え方を書くようにしましょう。

- (1) 組み合わせの問題です。百の位には0がこないこと、一の位には0と5しかこないことに注意して考えます。よくできていました。
- (2) 時計算の問題です。図をかくなどして、問題を的確に把握しましょう。

(3) 周期性の問題です。正解した受験生は、受験生全体の 67.9%、部分点を得た受験生は、受験生全体の 7.8%でした。3つのライトが 20 秒周期で点滅することがポイントです。

(4) 平面図形の面積の問題です。大変よくできていました。

**4** グラフを読み取る問題です。問題をしっかり把握し、どのように水が入っていくかを見極めることが求められます。

(1) グラフを読み取れるかが問われました。よくできていました。グラフから 6 分後に容器 A に水が注がれているので、一番上の容器は 6 分で満水になったことを利用します。

(2) 18 という誤答が多く、途中まではできていて問題は把握できていると感じました。何を問われているのかに気をつけてほしかったです。  
丁寧に解いていくと、容器 A と C にはそれぞれ毎分 3ℓ、毎分 6ℓで水が注がれることが分かります。

(3) (2) ができていれば、容易だったようです。正解した受験生は、受験生全体の 25.1%、部分点を得た受験生は、受験生全体の 7.0%でした。  
最後に満水になる容器は左下の容器であることがポイントです。

**5** 流水算の問題です。3つの時間が何を表しているのか的確に把握することがポイントです。

(1) 3つの時間が何を表しているのかを、図などを用いて整理して考えます。

(2) 速さと時間の比が逆比であることを利用して解いていきます。

(3) 基本的な流水算の問題です。(2) ができていれば、容易だったようです。

**6** トランプを A～D の整数で振り分けていく問題です。1つ1つの作業を丁寧にやっていきます。

(1) ⑥の箱からは 12、①の箱からは 13、②の箱からは 12、③の箱からは 13、④の箱からは 9 を取り出すこととなります。

- (2) 2つの条件をもとにA,B,C,Dの数を求める問題です。カードが入った箱が8個なので、箱は①から⑧までの箱を使っていることとなります。また同時に、Aに入る数は8であることもわかります。8以下の整数が入ること、箱は⑧まで使うことは理解できていたようでした。

全問を通して、当たり前ではありますが、とるべき問題でしっかりと得点している受験生が高得点となっています。また、記述の問題では、高得点の答案ほど、しっかりとポイントをおさえて説明が書かれている様子がうかがえました。日頃から、考えた経過をどう相手に伝えるのか、そのポイントはどのように書けば伝わるのか、意識して学習に取り組むとよいでしょう。